

議事録

1. 件名：「令和 5 年度原子力施設の配管要素試験体の振動試験及び有限要素解析」に係る技術検討会
2. 日時： 令和 5 年 9 月 11 日(月) 13:15～15:00
3. 場所： 原子力規制庁 会議室(web 会議)
4. 出席者： 原子力規制庁
長官官房技術基盤グループ 地震・津波研究部門
日比野総括技術研究調査官、東副主任技術研究調査官、川内技術計画専門職、高松技術参与、石田技術参与

株式会社 IHI

原子力 SBU 配管設計部 主査 他 5 名

学校法人東京電機大学

理工学部 機械工学系 教授

学校法人東京都市大学

理工学部 原子力安全工学科 教授

5. 要旨：

長官官房技術基盤グループ地震・津波研究部門では、令和 5 年度から東京電機大学との共同研究「機器配管系の耐衝撃性及び耐震性に係る研究(その2)」を実施している。また、その共同研究の一環として、株式会社 IHI と請負契約を締結し、「令和 5 年度原子力施設の配管要素試験体の振動試験及び有限要素解析」事業を実施している。

当事業では配管要素の材料の基礎特性試験を実施するとともに、試験体の振動試験及び事後解析を行う。

本技術検討会では、はじめに株式会社 IHI から昨年度に実施した振動試験の試験結果の概要と、今年度計画している振動試験の全体計画と試験内容が説明された。続いて、外部有識者と振動試験の加振条件や、試験結果を再現するための有限要素解析の解析条件について議論を行った。最後に、今年度の振動試験の加振レベルの決め方を確認し、計画通りに 9 月下旬から試験を実施することを同意した。

6. その他
特になし